

校長通信

Morifun

第1期考査が終わりました。結果はともあれ、まずはお疲れ様でした。本来であれば考査終了後には体育祭が行われる予定でしたが、コロナ禍のため延期となりました。本校にはグラウンドがないので、体育館や格技場だけだどうしても3密を避けられません。そこで夏休み明けの8月24日(月)に運動公園を借りて外の競技を実施することになりました。翌日は体育館で室内競技を実施します。今度は熱中症との戦いになりますが、感染症対策とも併せて安全に配慮しながら、思い出に残る行事になることを願っています。そしてその週末には盛附祭が行われます。これも残念ながら例年通りにはいかないとは思いますが、みんなで知恵を絞って素晴らしい行事を創りましょう!

<全校礼拝より>

新約聖書 ローマの信徒への手紙 8章26節

「同様に、「霊」も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、”霊“自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。」

皆さんご存知のように、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が全国で解除となりました。少しずつ生活が取り戻している一方で、私たちの生活や経済に重大な

影響を及ぼしています。色々なものが中止になり、制限を受けている、それはこれまで私たちが経験したことのない事態です。色々な経験を積んだ人でも受け止めることが難しい、そういう状況です。今の現実をどう受け止めたらよいか分からない。今の気持ちをどう言葉にしたらよいか分からない、多くの人が今そういう心境であると思います。今の気持ちを頑張って言葉にしてみるけれども、その言葉が今の自分の気持ちを本当にぴったりに表しているのか分からない。私たちが今の状況を言葉にするにはもう少し時間がかかるかもしれません。ゆっくり時間をかけて少しずつ言葉にしていけばいいんじゃないかなと思います。

私自身、高校生の頃から毎日、ノートに色々な文章や日記のようなものそして詩などを書いていました。そういうのを書くほどに、自分の心の内にあるものを正確に言葉にするのは難しいと思われました。でも少しでも正確に言葉にすることができたとき、ふっと心が軽くなって解放されていくのを感じました。そのノートは今も大切ににとっていて、すぐ手に取れるところに置いています。そこに書いた言葉が今も自分の心に残っていますし、一時的に忘れたとしても、ノートを読み返すことで、すぐに当時の自分と繋がることができます。皆さんも今の気持ちをノートに書き留めてみたらいいんじゃないかなと思います。それはもちろん人に見せるノートではなくて、自分だけのノートで、その中には無理に前向きな言葉だけを書くのではなくて、色々なネガティブな否定的な想いも書いてみたらいいんじゃないかなと思います。色々な言葉を書いていくうちに、自分にとって大事な言葉も分かるんじゃないかな。今皆さんが一生懸命に考えて言葉にしたことが、これからの皆さんの人生を支えていく大切な言葉になっていくかもしれません。将来の財産に繋がるものだと思います。

どうしても今すぐには言葉にならない瞬間というのがあると思います。ノートに向かってもなかなかページを埋めることができない。書く言葉が見つからないことも

あると思います。キリスト教ではお祈りをするのですが、どうお祈りすべきか私自身分からないことがあります。今回のような大変なことが起こった時、突然教会のメンバーが亡くなった時、牧師として祈らなければならないのですが、祈る言葉も見つからないことがあります。今日の聖書の言葉に、「わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが」と、どう祈るべきか分からないと率直に書かれています。同時に「“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。」と書いてあります。「霊」というのはここでは精霊、神様の霊と言われていますが、神様が言葉に表せないうめきをもって執り成してくださる、というのは少しわかりづらいのですが、「うめき」というのは言葉になる前の口から思わず漏れる声のことを言います。ここでは神様が一緒にうめいてくれる、声を上げてくれるという不思議なことなわけですが、神様が言葉に表せないうめきでもって私たちと一緒にいてくれることなのです。私たちがなかなか自分の心の中のことを言葉にできないとき、一緒にうめいてくれている存在がいるのではないかと、聖書はそれが神様だと。そして皆さんのすぐそばにも一緒にうめいてくれている人がいるのではないかなと思います。少なくとも言えることは、私たちは一人ではない、一緒にうめいてくれている友達や仲間がいるわけで、かけがえのないこの同じ時間、同じ場所を共有している人がいます。私たちは決して一人ではなく一緒に結び合わされているのではないかなと思います。それを心にとめて、これからも一步一步生活していきたいです。(5月26日 全校礼拝・花巻教会牧師・鈴木道也先生)

新約聖書 マタイによる福音書 7章12節

「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

今日の礼拝は放送ではなく全校礼拝として体育館で行われています。新型コロナウイルス感染症対策として、教会でも教派によっては2月頃から礼拝を中止にしたり、

オンライン礼拝なるものにしたりとすところもありました。私が所属する花巻教会では賛美歌は唄わないなどの対策を講じながら礼拝は続けてきましたが、現在は最初と最後だけ賛美歌を唄うというように、少しずつ通常に戻りつつあります。

今日紹介した聖書の一節は黄金律と呼ばれていて、いわゆるゴールデン・ルール、時代や国境を越えて誰にでも通用するルールという意味です。この言葉自体は必ずしもイエスキリストが言ったわけではありませんが、ユダヤ教や古代ギリシアでは格言として、「人にしてほしくないことは人にしてはいけない」という言葉がありました。ここでは「人にしてもらって嬉しいことを人にしましょう」と、行動に移すことの大切さを説いているのです。「人にしてもらって嬉しいこと」とはどういうことなのか。困っているときに親切にしてもらい、助けてもらう。辛い時にじっと話を聴いてくれる、そばにいてくれる。嬉しいことには共通点があります。それは自分という存在が誰かから大切にされているとき、私たちは嬉しいと思います。また、「人にしてもらいたくないこと」というのはやはり共通点があり、自分が馬鹿にされる、軽んじられる、無視される、相手にされない、つまり自分が大事にされていないということです。「人にしてもらいたくないことを人にする。してもらいたくないことは人にしない。」というのは、人を大切にするという共通項であり、それを伝えているルールであり、黄金律なのです。これからもどうしたら自分を大事にして、人を大切にできるかを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

(6月16日全校礼拝・花巻教会牧師・鈴木道也先生)

<部活動を振り返って①>

コロナの影響でインターハイや甲子園大会をはじめ、部活動を通して鍛錬してきたものを披露する機会を失われてしまいましたが、そんな中で主将・部長に今の心境を言葉にしてもらいました。今月と来月の2回にわたって紹介します。今回は運動部。質問内容は以下の通り。

- 1 部活動を振り返って
- 2 高総体等各種イベントが中止になりましたが、それについて何かあれば一言
- 3 後輩へ一言

柔道部 3年1組 鈴木壘

- 1 「東北・全国で勝つ」というのを目標として取り組んできた。コロナの影響で最後の大会がなくなり、目標を見失ってしまったが、大会がなくても柔道を通して得るものは今後のために必要となると信じ、3年生はそれぞれの目標や目的を達成するために前を向いて歩み始めている。
- 3 全員が同じ目標に向かって一生懸命取り組むことができるのは、当たり前のことではなく本当に幸せなことだと思う。毎日を当たり前だと思わず、感謝を忘れずに過ごしてほしい。

野球部 3年3組 小林武都

- 1 秋から甲子園を目標に取り組んできました。「目標と目的」を大切にこれからは活かしていきたいです。
- 2 野球は代替大会を開いて頂くので全力で取り組みたいです。
- 3 目標を大事に頑張ってください。

陸上部 3年2組 佐々木健心

- 1 高校から陸上を始めた僕は、日々の練習や夏季休業の合宿等を通して、陸上競技とはどういうものかというのを学ぶことができて、それが自分にとってとても良い経験になり、とても楽しかったです。
- 2 選手達の実力を発揮できる場がなくなり、残念に思います。
- 3 それぞれの目指している目標があると思うので、それを達成できるように、日々の練習から頑張ってください。

卓球部 3年1組 細田美紗稀

- 1 全力で取り組むことができ、皆が成長することができた。

- 2 残念だけれど勉強に取り組めるので良かったです。
- 3 2年間ちょっとの部活ですが頑張ってください。

サッカー部 3年2組 佐藤永樹

- 1 色々なチームと試合をして良い経験ができた。試合に勝つために日々の練習を頑張った。
- 3 これからもがんばれ!!

バドミントン部 (男子) 3年2組 川手太賀

- 1 いい仲間と巡り会えて充実した二年間でした。
- 2 高総体に向け、目標をもって取り組んできたが、中止になって不完全燃焼といった心境です。
- 3 これからも男女仲良く、高総体に向けて頑張ってください。

バドミントン部 (女子) 3年4組 松平愛

- 1 部員とぶつかったり、メニューが辛いと思ったりもしたけど、今振り返ってみると毎日が楽しくて幸せでした。バド部のみんなと部活ができてよかったです。
- 2 悔しい。
- 3 後悔しないように全力で頑張ってください。今までありがとう!

ソフトテニス部 (男子) 3年2組 城内怜

- 1 約2年という短い時間、みんなにはたくさん迷惑をかけたと思います。そんな自分を支えてくれて感謝しています。楽しく部活ができてよかったです。
- 2 やり切った感がなく残念な気持ちです。
- 3 自分たちの分まで頑張ってください。

ソフトテニス部 (女子) 3年2組 藤田雪姫

- 1 今まで大変なことがあり、さらに3年生の集大成となる高総体が中止になりましたが、とても充実した部活動でした。
- 3 高総体に向けて、日々練習を怠らずに頑張ってください。

今月のお薦めの一冊・今月の言葉はお休みします。